



会報

WEEKLY REPORT

2022-23 R.I.会長

ジェニファーE. ジョーンズ
第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ
会長/木戸辰浩
副会長/福田和彦
幹事/及川悟

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3050回 例会報告

2022.10.21

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

- 点鐘 木戸辰浩 会長
- 国歌斉唱
- ロータリーソング (奉仕の理想)
- 会長挨拶 木戸辰浩 会長



皆様こんにちは。
先々週旭川で地区大会が3年ぶりに開催され、盛大に大懇親会まで行うことが出来ました。先週は、全員登録で帯広西ロータリークラブの周年事業もあり、参加された方々には本当にお疲れ様でした。

さて、今月は米山月間でございます。皆様も米山についてはある程度知識はあると思いますが、米山記念奨学事業の目的はロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持貢献することを目的としています。そして事業については、全国のロータリアンからの寄付金を財源として日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業で将来日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命となっています。また特徴は奨学生の採用数は年間800人を越え、世界規模で展開してこれだけの外国人留学生を支援している団体は、事業規模、採用数とも日本国内では民間最大です。米山奨学制度は規模の大きさだけでなく、最大の特徴としてカウンセラー制度と世話クラブ制度があります。カウンセラー制度と世話クラブ制度については来週お話ししたいと思います。

明日は音更クラブの周年事業がございます。参加される方は緑のネクタイ、女性の方はスカーフを着用して参加をお願い致します。

- ニコニコボックスの発表 福田和彦 副会長
誕生日に記念品を頂き有難うございました。
山本会員
妻の誕生日に記念品を頂き有難うございました。
高橋会員
誕生日に記念品と結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。
松原会員

- 妻の誕生日に記念品と結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。
及川会員
愛する妻の誕生日にステキなお花を頂きありがとうございます。
阿部会員
本日の例会宜しくお願い致します。
矢戸会員
本日の例会宜しくお願い致します。
火ノ川会員
明日、ゴルフ同好会の最終回です。宜しくお願いします。
村上会員

■プログラム 矢戸 雅英 十勝ロータリー奨学会委員長 【会員卓話】 火ノ川 好信 会員



前年度中の例会で2度にわたり十勝ロータリー奨学会についてお話をさせて頂きましたが、内容はそのまた前年の石岡委員長が残されていた問題についてのアンサー例会の意味合いを含んでいました。要約したつもりですがまだまだ話し足りないこともありまして、今日の例会で合わせてお話しできればと思っています。
まずは簡単に前回までの内容を振り返りながら現況を確認します。沿革についてはご覧のように1987年に正式に財団として設立された奨学会は、35年という長い歴史のなかで106名の奨学生に対し給付を行ってきました。現在は2名の奨学生に給付をしている最中です。

前回の例会では4つの問題点に着目し、その一つ一つについて、何が問題なのかを理解して頂くようお願いをさせて頂きました。特に財務のシミュレーションの中で、そもそも寄付を集める必要があるのかないのか、3万円、3名が現状妥当なのかなど設計に関する問題や、現状2名しか応募がないことに対して、募集の時期をはじめとする手法に問題がないのかなどお話をしました。令和5年、来年は新しい奨学生の応募時期になります。調べましたところ十勝管内の高校3年生の数はおよそ2500名程度です。必要とあれば生徒一人一人にプリントを配布する工夫や配布資料にQRコードをつけるなどして、検証可能な応募の仕方を模索するのも有効であると思われるので是非お考えいただき、一人でも多くの応募が来ることを祈っております。



さて今日は2つの視点から公益財団法人十勝ロータリー奨学会を考えてみたいと思います。7月の末に青少年の中村委員長が大谷高校のインターアクトクラブを引き連れ湘南に交流事業を行いました。その模様は後日開催された例会の中で大谷高校の生徒の皆さんが発表をしてくれたので皆さんも記憶に新しいところだと思いますが、僕はこういう事業が好きで是非これからも様々な体験で未来ある子供達の生きる力を伸ばせてあげたいと思います。しかし、こういった事業を継続的に行うためにはその原資が必要で、プランは作るけどお金は全て自己負担ではなかなかうまくいかないし、そもそも経済格差を生む可能性があります。こういった良い事業をしたいと思った時に十勝ロータリー奨学会のお金を使うことはできないのかと考えました。

そこで1つ目の視点が「公益法人に出来ること」です。公益法人とは法律で示されている公益目的事業を行う組織に与えられた特別な法人格です。公益目的事業は23項目あり、抜粋するとこのような内容があります。十勝ロータリー奨学会は上段にある学術及び科学技術の振興にあたると思われれます。その他、様々な目的が適用されるのがみてわかると思われます。公益目的事業の項目を見てもなかなかイメージが湧かないと思いますので、実際に事業名として挙げられている例を見えます。このように各種イベントや、競技会やシンポジウムなども公益法人が出来ることとして示されています。この表から考えても、先ほど申し上げ交流事業は十分に公益法人として行うことができる範囲でありますし、例えばコロナ禍で休止をしていますが、子供たちのアイスホッケー大会を公益法人で開催するのは問題ないですし、僕ならもっと十勝のエッジの効いた人材育成があってもいいと思っていて、これからは宇宙の時代ですから、大樹高校の生徒への奨学金の制度や宇宙関連のイベントにもっと関わっていくべきなのではないかと思えます。ただし、様々なことで出来そうでそれなりのハードルを持ち合わせていて、公益事業のポイントとして「不特定かつ多数の利益の増進に寄与するもの」という大前提を忘れてはいけません。ですからインターアクトが活躍できる素晴らしい事業を組み立てたとして、帯広のインターアクトクラブだけを事業の対象とするのは不特定にならないでしょう。例えば十勝の高校生に広く応募しなければならない、もしくは2500地区のインターアクトクラブに広く募集するならOKかもしれません。アイスホッケーに関して常に広く応募しているので問題ないでしょうが、宇宙関連の高校支援では不特定とは認められない可能

性もあります。いずれにしてもこれをよしとするのもダメとするのも監督官庁や、公益認定委員会の判断が必要ですが、ここではやろうと思えばどんなことでもできるチャンスはあるということは覚えておいて欲しいと思います。

続いて2つ目の視点「十勝ロータリー奨学会に出来ること」です。定款第3条の目的にこうあります。「この法人は北海道十勝振興局内に居住する者、若しくは北海道十勝振興局管内の出身者又はロータリークラブの所在する国から北海道十勝振興局内に留学している者で、向上心に富み、かつ経済的な事情により修学困難な者に対し奨学金の給与その他必要な事業を行い、もって有為な人材の育成とロータリーの理想に寄与することを目的とする」。

また、定款第4条事業にはこの法人は前条の公益目的を達成するため、次の事業を行う。(1)大学の学生及び高等学校の生徒に対し、奨学金を給与すること。

(2)奨学生の指導を行うこと。

(3)その他公益事業目的を達成するために必要な事業。

2 前項の事業については、北海道区域内において行うものとする。

先ほど様々なできることを並べましたが、残念ながら十勝ロータリー奨学会ではどの事業もできません。言い切ってしまうことはないかもしれませんが、認められないと思います。

改めて創立からの物語を20周年記念誌から読み解くと、変わらないことは20年、30年先の人材育成、人づくりです。時代の流れの中で必要とされる状況に様々な変化がある中で、このことに固執していることがいいことかどうかを考える時がきているのかもしれない。とはいえ、解散をして財源を他の団体に負託してというのも少し違う気がします。ロータリアンとして地域の未来人材への投資は続けていくべきことだと思います。その時に、また新しい箱をつくり財源を用意することがいかに難しいかは、創立から今日に至るまでの過程を考えると容易に推察できるところです。

定款の第15条に評議員の権限という項目があります。抜粋すると評議員には定款を変更する権限が与えられているということです。今のままの奨学制度を続けるのもいいと思いますが、是非今日お話しさせていただいたことを頭の片隅に置いて頂き、議論を喚起していただければ幸いです。もっとも恐ろしいことは関心がなくなり、関わりがなくなることです。

本日はありがとうございました。

■次週のプログラム予定

「ゲスト卓話又は会員卓話」

■閉会宣言

■点鐘

木戸 辰浩 会長

例会案内

〈月曜日〉広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉足寄RC:足寄銀河ホール21
帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
〈火曜日〉芽室RC:めむるーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル

■出席報告/窪田 篤弘 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	メイクアップ	欠席	出席率